

# 行歯会だより 第177号

(行歯会=全国行政歯科技術職連絡会) 令和4年11月号



## 1 健康管理支援事業「お口ピカピカプロジェクト」

神奈川県 小田原保健福祉事務所保健福祉課 技師 浦上 汐美  
課長 中條 和子

## 2 先輩からのエール

愛知県 名古屋市健康福祉局健康増進課 歯科衛生士 金森 いづみ

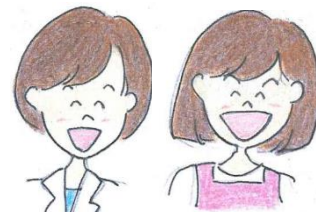
## 3 都道府県世話役のつぶやき

山口県 周南市健康づくり推進課 歯科衛生士 金本 博美

山梨県 福祉保健部健康増進課 (山梨県口腔保健支援センター) 歯科保健主幹 新村 明子

## 1 健康管理支援事業「お口ピカピカプロジェクト」

神奈川県 小田原保健福祉事務所 保健福祉課  
技師 浦上 汐美  
課長 中條 和子



行歯会の皆様には日頃から貴重な情報をいただきありがとうございます。  
今回は、所内他職種及び地域歯科医師会の協力を得て、コロナ禍真っ只中の令和3年度から従来の取組に新たな要素を加えて実施中の「お口ピカピカプロジェクト」について御紹介させていただきます。

### 1 これまでの経緯

平成30年の生活保護法改正により「被保護者健康管理支援事業」が、被保護者の生活習慣病対策及び医療費の適正化を目的に創設されました。平成30年度以前から現在に至るまで、当所が所管する3町の被保護者数は県域で最も多く、保護費の約5割を医療費が占めていることから、被保護者の生活習慣病対策が求められています。国が考える本事業の主な対象者は、被保護者のうちでも成人と思われそうですが、当所では所管3町の被保護世帯における平成29年度学校歯科検診結果において、小学生28名中21名にう蝕があり、その8割が未処置歯であったという事実を受け、「子ども」を対象者とした事業を検討し、平成30年度から「子どもの歯科支援」を開始しました。事業開始から令和2年度までの3年間は、まず被保護世帯に、生活福祉課の子ども支援員と共に歯科職を受け入れてもらうこと(歯科を身近に感じてもらう)、個人に合わせた歯科保健指導及び必要に応じて歯科受診勧奨を行ってきました。訪問の度に歯科職の受入れはよくなっていくのですが、なかなか歯科受診には繋がらず、未処置歯の状態は前年度と変わらないという課題が表面化してきました。

### 2 令和3年度スタート「お口ピカピカプロジェクト」

そこで、本プロジェクトでは、子どもの適切な生活習慣・食習慣の確立及び歯科医療の受診を通じて、将来を見据えた自身の健康管理や生活習慣病予防に繋げるという目標を掲げると共に、新たに次の3要素を加えることとしました。

- (1) 学校歯科健診結果と家庭状況の詳細を共有するための事前カンファレンスの開催
- (2) 子ども達の年齢に合わせた歯科保健教材による学び

### (3)地域歯科医師会との連携による各世帯に合わせた受診勧奨

具体的な事業の流れについては以下の通りです。

#### ① 説明と同意・訪問または来所日の設定

対象とする子どもは、管内の全被保護世帯の0～18歳とし、その保護者に対して、各世帯担当のケースワーカー及び子ども支援員から本事業について説明し、同意を得られた世帯について訪問または来庁の希望を基に個別に予約日を設定します。

#### ② 学校歯科健診結果と家庭状況の詳細把握と事前カンファレンスによる共有

生活保護法第29条に基づき、幼稚園、保育園、小学校、中学校に対して、対象者の歯科健診結果を照会し、口腔内状況のリスク判定を行います。その後、リスク判定結果及び各家庭の状況について歯科職、ケースワーカー及び子ども支援員とで共有し、支援当日の流れや対応等について事前カンファレンスを行います。

#### ③ 子ども達の年齢に合わせた歯科保健教材による学び+口腔内チェック・必要に応じた受診勧奨

○対象：3歳児未満

絵本「はみがきれいっしゃ しゅっぱつしんこう！」の読み聞かせと保護者への助言

○対象：3歳以上で受け応えが出来る子ども

	令和3年度	令和4年度
1	アンケート（今の自分の歯と口の状態は？+将来はどんな口になりたい？）	
2	対話をしながら「自分で考える」歯科保健指導	
	「おやつ選び方とむし歯の関係」 ・今日のおやつは何にする？好きなおやつを自由に選ぼう ・甘いジュースに入っている砂糖の量ってどのくらい？ ・むし歯ができるまで	「歯ぐきの病気（歯肉炎）」 ・覚えているかな？むし歯ができるまで ・歯についている汚れの正体 ・健康な歯ぐきと病気の歯ぐきの見分け方 ・歯肉炎ができるまで ・自分の歯ぐきを観察
3	歯科検診+自分の口を再確認（保護者にも確認してもらいます）	
4	歯みがきワンポイントアドバイス	
5	学習効果の確認	
	・今日のおやつは何にする？ 歯にやさしいおやつを選ぼう	・1週間後のお口について目標を立ててみよう

○対象：高校生

大人になる前の今だから知って欲しい情報を提供

- ・第一印象を作用する「口元」、日本と海外の「歯と口腔」に対する意識の違い、セルフケアとプロフェッショナルケア、歯周病と全身疾患（早産、低体重出生児出産を含む）等

#### ④ 地域歯科医師会との連携による各保護世帯に合わせた受診勧奨

未受診の理由を保護者に尋ねたところ、受診を勧められてもどこの歯科医院に行けばよいのかわからないという声が多くあったことから、対応可能な歯科医院をリスト化しました。リストアップの条件は、生活保護被保護者の歯科治療が対応可能であること、小児歯科の届け出があること、さらに、3町以外の近隣市に所在する歯科医療機関の場合は、主要駅から徒歩15分圏内であることとしました。また、地域歯科医師会に事業説明を行い、会長名で対象会員へ協力を依頼する通知を发出していただいた後、当所の歯科職が個別に歯科医院を訪問し、改めて協力を求めました。

本プロジェクトにおける訪問または来所での口腔内チェックの結果、治療が必要な場合には、作成した歯科医院リストを基に、各家庭に合わせた受診勧奨を行います。

### 3 令和3年度の事業実績（令和4年度は現在進行中です）

プロジェクト参加率は59%、そのうち受診勧奨した者の割合は44%、その後、実際に歯科受診をした者の割合は67%でした。

### 4 困難ケースとその経過

○ケース1：歯科受診に恐怖心があった子どもが通院できた

- ・訪問時、子どもと保護者に対し、歯科受診についてのメリットや歯科医院の様子を楽しく分かりやすく伝え、保護者の同意を得た上で、受診予定の歯科医院へ子どもの状況について説明しました。さらに、ケースワーカーや子ども支援員から受診状況の確認を行いました。

⇒（1年後の様子）歯科医院からの丁寧な対応により、子どもは、歯科恐怖を克服できました。

#### ○ケース2：なかなか歯科受診の予約をしない母子が受診できた

- ・母子からの「受診するとしたらこんな歯科医院がよい」等の希望を踏まえた上で、子どもの性格や口腔内状況に適した歯科医院をピックアップし、子ども支援員による根気強い受診への後押しを行いました。

⇒（1年後の様子）歯科医院からの丁寧な保健指導により、子どもの口腔リテラシーに変化が起き、プラークで歯が見えない状態から、清潔な口腔内に変貌していました。

#### ○ケース3：C4レベルのう蝕がある子どもが治療につながった

- ・保護者の同意を得た上で、受診予定の歯科医院に子どもの状況を説明し、さらに、ケースワーカーや子ども支援員による受診予約や受診同行の手助けを行いました。

⇒（1年後の様子）対象児が「歯医者さんに10回以上頑張って行ったよ。もう痛くなくなったよ。」と嬉しそうに話してくれました。

## 5 令和3年度～現在までの振り返りと今後の展望

自宅というリラックスできる環境で、身近な存在であるケースワーカーや子ども支援員と共に、歯科職に接することで、子どもだけでなく、保護者にとっても歯科が身近な存在になれてきたことを感じました。また、年齢に合わせた学習教材を活用することで、子ども達の考える力を促しながら、自分の事化し、口腔への関心が高まることを実感しました。さらに、歯科受診を敬遠してきた保護者と子どもにとって、受入れ体制の整った歯科医院で治療を受ける・治療を完了する・口腔内状況が改善することは、成功体験として、口腔疾患予防のみならず、生活習慣の改善を促し、将来的に生活習慣病予防にも繋がることを期待できます。

一方、本プロジェクトへの参加に同意が得られない世帯もあり、同世帯への働きかけの方法を検討していく必要があります。また、上記ケース3で示した例では、ケースワーカーや子ども支援員が受診予約や受診同行の手助けを行いました。同様の支援がない状態では、保護者は子どもの受診を中断してしまう可能性が高く、親子のみによる受診行動及び受診継続の困難性の解決は喫緊の課題です。

未だ続くコロナ禍の影響で、管内の生活保護被保護世帯は増加しており、本プロジェクトの対象者も増えていくことが想定されます。子ども達とその保護者にとって、参加してよかったと思える事業を目指していきます。

## 2 先輩からのエール

### 名古屋市健康福祉局健康増進課

#### 歯科衛生士 金森 いづみ



#### 1 思い描いていた定年退職と違って・・・

こんにちは、名古屋市の金森と申します。今回執筆依頼を受けるにあたり、私で良いのかと迷いましたが、以前行歯会だよりの編集担当を仰せつかった際、原稿依頼を快く引き受けていただいた方々の事を思い出し、こうして執筆している次第です。よって「先輩からのエール」などとはおこがましい限りで、「行政一筋40年！の歯科衛生士の思い出話」としてお読みいただければ幸いです。

さて、私は2021年3月コロナ禍の中で定年を迎えました。最後の1年間は2回の緊急事態宣言により、歯科保健業務はほぼ中止となり、歯科衛生士もコロナ業務を担当するという想定外の状況下での退職でした。そのため、このままでは行政歯科衛生士として悔いが残ると考え「来年はコロナが収まれば元の状態に戻れる」と信じて定年後も引き続き保健センター歯科衛生士として残ることにしました。ところが年が変わってもコロナの状況は変わらず、新たな波が襲うたび残業や休日出勤が増え、コロナ業務のウエイトはますます高くなっていきました。そのような中「このまま続けていてもコロナ前の状態に戻ることは難しい、保健センター歯科衛生士の集大成として、歯科事業のまとめと分析、発表に取り組むのは困難」と考えるようになりました。

ちょうどその頃、次年度は新規、育休代替を含め4名の歯科衛生士を採用することが決まり、その研修を再任の歯科衛生士が担当することになり、私とその役割を担うことになりました。新たな展開の中、次世代を担う後進の育成を行政歯科衛生士最後の仕事とすることに決めました。こうして現在、新任歯科衛生士の育成支援に取り組んでいる次第です。

## 2 先輩から学んだこと、後輩に伝えたいこと

### ○ “等”でも歯科の話を見せてもらう！

今でこそ歯科疾患が全身に影響を及ぼす恐れがあるため、予防が重要であることは広く知られていますが、私が就職した1980年頃は「年を取ったら歯槽膿漏になって、歯がなくなるのはあたりまえ」と考える人がまだまだ多い時代でした。そのため、生活習慣病予防事業（当時は成人病と言っていましたが）の要領には歯科衛生士が明記されておらず、「医師、保健師、栄養士等」のように歯科衛生士は“等”と表現されていました。「“等”であっても歯科保健の重要性を5分でも話をするだけで、市民や他職種の理解を得て歯科衛生士の必要性を認めてもらいたい。」と先輩方とともに熱く訴え、何とか健康教育のメンバーに加わることができるようになりました。

現在は乳幼児期から高齢期まですべてのライフステージにおいて「口腔健康管理」の必要性が認められ、当たり前のように保健師、管理栄養士とともに歯科衛生士が健康教育の一員に加わっています。その裏には先輩方の5分でも…の熱い思いと努力があったことを忘れず、これからも歯科保健の重要性を伝えていってください。

### ○ 顔を売る、名を売る、知り合いを増やす！

新人の頃は先輩に声をかけてもらい、研修会や夏ゼミによく参加していました。訳も分からずついでと、先輩は行く先々で多くの人から声をかけられ盛んに情報交換していました。仲間とつながることで、同じ事業でも対象者の選定や実施内容の違いなど、地域によって差があることを初めて知ることができました。それからは後輩を誘って、研修会、行歯会、夏ゼミ等に参加しています。

行政の仕事は新たな発想が大切で、アイデア勝負という面も多々あります。しかし、行政歯科専門職は少数職種のため、ともすると視野が狭くなりがちです。知り合いを増やして視野を広げる、歯科専門職だけではなく同じ職場の他職種、また他所属の事務職など、今はコロナ禍で難しい状況ではありますが、オンラインツールを駆使して仲間の輪を広げていただきたいと思います。

### ○ 素晴らしい計画を立てても行政だけでは実現できない！

「絵に描いた餅」「笛吹けど踊らず」「机上の空論」と実現できない計画に対することわざは、枚挙にいとまがありません。進捗状況について組織の代表者で検討する会議も大切、達成度の評価も必要ですが、計画を立てた本来の目的を達成するには、日常の生活圏である地域住民の協力が不可欠です。地域の子育てサロンや高齢者の介護予防サロン、そして保育所、幼稚園、学校から事業所まで、地域のキーパーソンを見つけ連携を図る地区組織活動の手法が有効です。これらは尊敬する保健師から学びました。その保健師はひとたび担当地域に出かけると、あちこちに顔を出し住民を巻き込んでいく台風の目のような存在でした。地域の協力を得ることが目標達成の近道であると考えます。

併せて組織に協力を求めることも重要です。地域の歯科医師会や歯科衛生士会の理解を求める必要があります。すべての会員が同じ方向を向くのは困難ですが、組織として同じ方向を向いていることが重要です。間違った方向を向いてしまうと修正するのに多大なる労力を必要としますから。

## 3 最後に・・・

このように地道に活動を続けていくことが地域住民の口腔健康管理、ひいては全身の健康につながると信じて40年間過ごしてきました。思い起こせば、満足な結果が得られた仕事ばかりではありませんが、総じて楽しく充実した仕事ができたと考えています。それもこれも多くの方々との出会いと助けがあったからと感謝しています。皆さんも多くの仲間と知り合い、思い出に残る仕事をしてください。

終わりに、つたない文章を最後までお読みいただきありがとうございました。

## 3 都道府県世話役のつぶやき

●●●●●●●● 山口県 ●●●●●●●●

### 山口県周南市健康づくり推進課 歯科衛生士 金本 博美

行歯会の皆様、いつも貴重な情報をいただきありがとうございます。

山口県の世話役を担当させていただいております金本です。文章を書くのがとても苦手なのですが、今回はコロナでずっと中止となっていたイベントが2年ぶりに復活することができましたので、近況としてご紹介させていただければと思います。



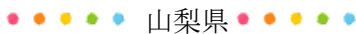
## ○ ぶち元気がいいね！フェスタの開催

例年スポーツの日（体育の日から名称が変わっていたことを最近知りました）に、市のスポーツイベントと同時開催で、健康づくりに関するイベント「ぶち元気がいいね！フェスタ」を開催していました。コロナでこのイベントも2年間中止となっていました。今年復活し、久しぶりのイベント開催となりました。

このイベントは医師会や薬剤師会、栄養士会などの団体がそれぞれ工夫をこらしたブースを設置し、様々な企画が集う楽しいイベントです。今回市のブースの1つとして歯科ブースを設置させていただきました。「歯医者さんになっちゃおう！」と題しまして、人工歯にレジンをつめて光照射をしてみるという歯医者さん疑似体験コーナーと、お花やうさぎなど様々な形のシリコンモールドにレジンを流し固め、マグネットを貼り合わせてかわいいマグネットを作るコーナーを実施しました。この企画には地元の歯科医師会の先生と地元企業である(株)トクヤマ様、(株)トクヤマデンタル様と連携させていただき、新しい試みとなりました。歯科医師の先生に指導をいただいたり、歯科材料に触れたり普段なかなかできない体験に、子どもたちもですが、保護者の方が興味津々だった印象でした。

6月頃から打ち合わせを重ね準備をしてきた久しぶりのイベント開催がいい形で終了でき、ほっとしています。今回のイベントを通して、少しでも口腔の健康のことを考えるきっかけになればうれしいな・・・と思います。

今後も、皆様からの貴重な情報を参考にさせていただきながら、地域での歯科保健活動に真摯に取り組んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 山梨県福祉保健部健康増進課（山梨県口腔保健支援センター） 歯科保健主幹 新村 明子



行歯会の皆さま、いつもお世話になっております。行歯会の皆様方には、いつも大変貴重な情報を発信していただきありがとうございます。山梨県の世話役を仰せつかっております新村です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私が行歯会の【New Face】を執筆させていただいてから1年ちょっと・・・早いスパンで依頼がくるとは思っておりませんでした（笑）しかし、気付けば山梨県の世話役を任せられるという、身に余ることでございます。

山梨県では、4人の歯科行政職が配属されており、歯科医師は1名、歯科衛生士は3名で日々奮闘しております！

### ◆山梨県について◆

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置しており、人口は約81.5万人で、27市町村からなる県です。県土の約78%を森林が占めており、富士山をはじめとする山々などに恵まれた自然環境、高品質な食材に裏打ちされた豊かな食文化、高い技術と伝統を持つ地場産業をもった地域です。本年度は、第81回日本公衆衛生学会総会も10月7日～9日まで開催され、全国各地からお集まりいただき、多くの歯科保健関係の先生方も参加され、私のいる甲府市も賑やかさを取り戻しておりました。

### ◆山梨県の最近のトピックス◆

山梨県で新型コロナウイルス感染症患者が確認されたのは、令和2年3月でした。それから、新型コロナウイルス感染症の影響で、歯科業界も患者さんの受診控えが多くなり、治療中断・口腔環境の悪化が示唆される中、新型コロナウイルス感染症対策として、臨時歯科保健事業を実施してまいりました。

本県は、平成29年に歯科疾患実態調査を実施しておりますが、歯周疾患の罹患率が全国より高い状況にあること、残存歯数は増加していますが咀嚼良好者は変化していない、歯科健診を実施している事業者が減少しているなどの課題があります。

今後も「口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小」の達成のために、地域や社会経済的状況などによる健康格差が指摘されていることから、歯科口腔保健に関する市町村ごとのデータや新たな指標などを追加し、今後の健康格差の縮小に努めていきたいと思っています。

令和4年度は歯科疾患実態調査も控えております。これからも、行歯会の皆様から色々と御教授いただき歯科保健に従事して参りますので、よろしくお願いいたします。

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛にご連絡ください。

♪ 編集後記 ♪

当所では、頑張るパパ&ママ応援として「砂糖を使わない簡単おやつレシピ」を作成しています。この秋のおススメレシピは、「スイートポテト2種のチーズがけ」☆ 子ども向けに作ったおやつのはずが、私が担当すると、どーもワインのお供になってしまいます🍷（條）

先日、かぼちゃのケーキを焼きました（今、季節はハロウィン）。ケーキを食べながら「スラムダンク」（高校生の男子バスケットのマンガ）を読み返しました。家族そろってマンガ好きで、数えたら2,000冊を越えていますが、なかなか断捨離できません。（島）